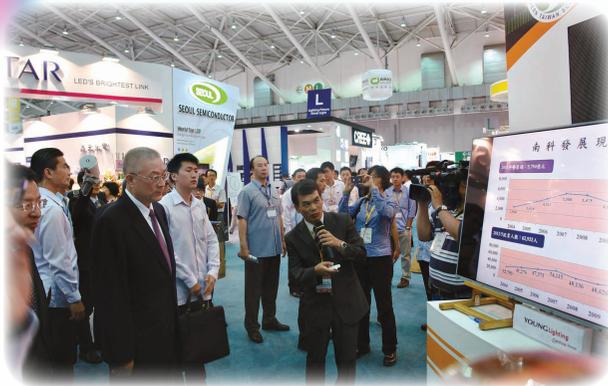


海外での投資誘致



■ 国際光電展で南科主題館を訪れる呉敦義副総統（左手前）（2012.06.19）

台湾のトップを走る南科の光電産業

「2012年触控面板暨光学膜製程・設備・材料展覧会」が8月29日から31日まで台北南港展覧館で開催され、南科管理局は入居企業4社を伴って出展しました。「光照南科、日耀南台」をキャッチフレーズに設置した「南科智慧電子産業主題館」では、光電産業で最も生産額が大きく、最もサプライチェーンが整い、最も多くの日系企業が進出しているのが南科であり、南科が最も優れた投資先であることを説明。呉敦義副総統には陳俊偉局長が自ら解説に立ち、副総統からは賞賛の言葉のほか、光電以外の産業集積についても更なる成長を目指して今後とも努力を続けるよう南科への期待が示されました。

バイオテクノロジー産業も世界の舞台へ

「2012台湾バイオ展示会（Bio Taiwan）」が7月26日から29日まで台北世貿展覧館で開催され、南科管理局が設けた「南科主題館」には入居企業8社が出展。各社とも自社製品の売り込みに奮闘しました。南科企業の一つ、「台湾神隆」は長年にわたる研究開発への投資とその成果が認められ、呉敦義副総統の手で「2012傑出生技産業金質獎」を授与されるという栄誉に輝きました。

国際光電展 南科の実力をアピール

21度目の開催となる「台北国際光電展」が6月19日から21日まで台北南港展覧館で行われました。南科管理局の林永寿副局長によるプレゼンテーションには呉敦義副総統も臨席し、南科の光電産業とクリーンエネルギー産業の発展の現状について理解を深めてもらうことができました。展示会には入居企業8社が出展し、全世界に向かって南科の光電産業の実力をアピールしました。



■ 「2012傑出生技金質獎」が呉敦義副総統（左）の手で台湾神隆に授与される（2012.07.26）



■ 台湾バイオ展示会に出展した入居企業のスタッフ（2012.07.26）